

議案第41号 平成30年度能勢町一般会計補正予算（第3号）

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長

注：議長は採決に加わりません。

平成29年度能勢町各会計歳入歳出決算認定について

認定第1号 平成29年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定

賛 否

認定

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長

注：議長は採決に加わりません。

認定第2号 平成29年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

賛 否

認定

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長

注：議長は採決に加わりません。

【反対討論】

中西 顕治

国民健康保険税が高すぎるという声は増えることはあっても、減ることはない。

H29年度は、単年度の収支が6000万円余の黒字で、加入1世帯当たり3万円を超える金額である。基金繰越金を含めると4億円に届こうかという余剰金を持つ決算となった。主因は高すぎる保険税であることは明白である。本年度から国保は広域化され統一保険料が示されている。激変緩和期間を過ぎれば町の努力で保険料を抑えることが難しくなる。

このような住民いじめの制度に反対をし、可処分所得を増やす策の充実を行うべきであり、反対する。

【賛成討論】

岡本 ひとし

国民皆保険がある事により、安心して医療が受診できるものである。また、今年度から国民健康保険は広域化されており、府下統一した保険料が示され、急激な保険料金を抑えるためにも一定の基金繰越もいたしかたなく、保険料の抑制に努め、激変緩和策を講じ、安定した国民健康保険となるよう希望し、賛成する。

認定第4号 平成29年度能勢町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

賛 否

認定

西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長

注：議長は採決に加わりません。

【反対討論】

中西 顕治

第6期計画で、計画されていた認知症対応型施設整備が実現せず、施設が供用されなかったため、介護給付準備基金は、計画以上に積み立てられ、繰越金と合計で1億2000万円の余剰金を持つ決算となった。

介護保険料は、3年間の運営見通しのもと、給付に見合う保険料を設定する制度となっているが、支払った保険料に見合う事業が行われず、住民は余分な保険料を支払ったことになる。

こうなることは、H29年当初には見通せていたことであるのに、介護保険料の引き下げに手をつけなかったことを主な要因として反対する。

【賛成討論】

岡本 ひとし

だれもが、年齢とともに介護保険を利用することがあり、特に本町においては、必要不可欠の制度であることには十分に理解されており、付託された委員会の中でも課題はあるが、安定した運営を望むという議論もあり、賛成する。